

倫理学習の方針と倫理学習項目を含む科目

基幹工学教育課程 専門教育科目		
基幹工学教育課程の倫理に関連する学習の方針	・ 電気・機械工学および環境都市工学等の技術が過去から現在にもたらした課題の重大さ等、環境や社会生活に与える影響が考慮しつつ技術開発に取り組むことのできるエンジニアを育成する。	
	・ 電気・機械工学分野および環境都市工学分野が社会基盤を支える重要性を考慮し、技術者倫理を重視しつつ、安全性、環境親和性、持続可能性に配慮できるエンジニアを育成する。	
	・ 電気・機械工学および環境都市工学の発展と共に社会や生活が大きく変化してきたことを認識させ、今後の展望や未来への影響を理解して技術開発に取り組むことのできるエンジニアを育成する。	
倫理学習項目を含む科目		
科目名	倫理学習の内容	
	記号※	説明
計算機基礎	A, B	機械式から電子式計算機への発展の経緯を含めた、計算機の技術史について学ぶ。その際、計算機で採用された方式および電子部品について、環境負荷などの関連から今後の課題について理解する。
電気・機械工学実験	A, D	実験における倫理として、学生実験におけるデータの取り扱い、実験レポート作成における引用の仕方などを学ぶ。
技術開発特別講義	A, D	全 15 回の講義中、2 回を「適性」と題して、技術士歴の長い講師により、技術士法、技術士倫理要項と、技術者の倫理に関する考え方について受講者自らが実践できるように事例を交えて講義する。
環境生態学	A	これまで、建設分野が行なってきた開発のうち、地域に与える影響がわかっていたにもかかわらず強硬な姿勢で開発を行った結果、様々な弊害をもたらした事象について例を挙げて説明し、技術者としてどのような対応をとるべきであったかについて授業内で議論を行う。さらに、これらの件を取り上げ具体的にどのようなことをするべきであったかについてのレポートを作成する。
建設マネジメント	B, E	土木学会が定める土木技術者の倫理規定を解説し、青山士、宮本武之輔、八田與一の偉業を紹介するビデオを視聴し、(1)日本と他国と土木技術者、(2)結果(偉業)と意思決定、(3)偉人と私たちについてレポートにまとめる。

※科目名の下線は必修科目。二重下線は電気・機械工学コースのみ必修科目。

※記号は以下から選択（複数選択可）

- A) 当該分野技術等が引き起こした社会問題、事故、技術者倫理
- B) 当該分野の技術がもたらしてきた価値、社会変革、貢献し支えてきた社会・生活・文化
- C) 現在の社会課題や未来社会へ当該分野のふさわしい貢献、未来への影響に関する議論
- D) 当該分野の学習や研究開発への態度、研究倫理に関する議論
- E) 当該分野の関連学協会の倫理綱領等

F) その他